

特別支援教育体制推進事業 モデル事業
特別支援教育サポート校研究委嘱について

愛知県教育委員会特別支援教育課

1 目的

複数障害種の特別支援学級のある小学校2校を「特別支援教育サポート校」として研究委嘱し、特別支援学級担当者を核とした、リソース・ルーム運営の在り方をはじめとした校内支援体制づくりについて検討するとともに、近隣小・中学校へのサポート体制の在り方について研究する。

2 実施内容

(1) リソース・ルームの設置

通常の学級に在籍している発達障害等のある特別な支援を必要とする児童生徒が、障害に応じた教科指導や障害に起因する学習上および生活上の困難の改善・克服のための支援を必要な時間だけ受けることができる教室（リソース・ルーム）の在り方について検討する。

(2) 校内支援体制づくり

特別支援学級担当者が、通常の学級担任や関係教職員と関わりながら、障害による特別な支援を必要とする児童生徒への指導をするとともに、特別支援学級担当者が核となる校内支援体制の在り方について検討する。

(3) 近隣の小・中学校へのサポート

サポート校として、近隣の小・中学校の特別支援学級担当教員や通常の学級担任への指導・助言、発達検査や教育相談等を行い、近隣の小・中学校の特別支援教育を推進する。

(4) 養護学校の協力

近隣の知的障害養護学校を協力校として、必要に応じた指導・助言を受ける。

3 特別支援教育サポート校のシステムの検証

(1) 評価専門員の設置

学識経験者及び特別支援教育課職員を「評価専門員」として設置し、特別支援教育サポート校の体制等について外部評価を行う。

(2) 検討委員会の設置

評価専門員、サポート校職員、協力校職員、関係教育委員会職員による検討委員会を開催し、特別支援教育サポート校のシステム構築に向けての検討や、システムの修正・変更についての検討を行う。

4 研究委嘱期間

平成20年度から平成22年度

5 研究委嘱校と研究協力校

常滑市立鬼崎南小学校・愛知県立半田養護学校
蒲郡市立形原小学校・愛知県立豊川養護学校